

あかり
「お姉ちゃん、
それでど「行」くの？」

常盤あかり (10)

調乃宮第二小学校 5年1組

常盤ゆな (17)

調乃宮市立高校 2年5組



あかりが、姉に連れられた先は、
廃工場だった。

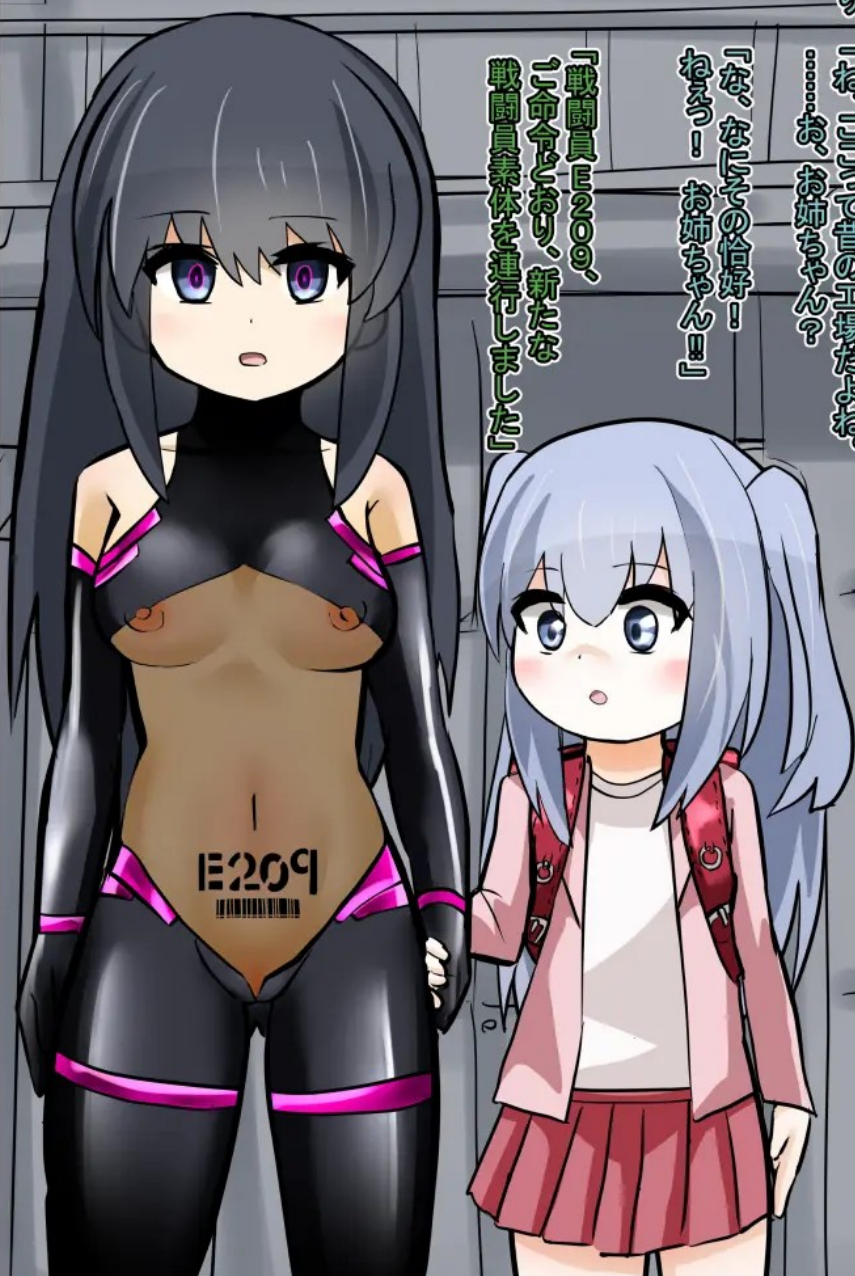
あかり

「ね、「こ」って昔の工場だね。
……お、お姉ちゃん？」

「な、なにその恰好！
ねえっ！ お姉ちゃん！」

ゆな

「戦闘員E209、
「命令」どおり、新たな
戦闘員素体を運行しました」



【戦闘員】とは、いわゆる悪の組織【ダールベルグ】に誘拐され、
洗脳・改造を施された少女たちの総称である。

テロ行為や、構成員や被占領地向けの「ガス抜き」としての性的奉仕、
新たな戦闘員となる少女を、誘拐によって調達する任務が与えられる。

“ゆな”はすでに、“優しいあかりのお姉ちゃん”ではなかった。
組織に身も心も尽くす奴隷【戦闘員E209】である。

すでに洗脳済みの姉だけでない。
他の戦闘員たちも、小さな素体を逃がさないようにと
無表情に、あかりを取り囲む。



あかり
「な、なに!?
この人たちっ!」

E209 「戦闘員E209。」

常盤あかり、の
戦闘員化改造を
開始します」

洗脳された姉に家族への情……
それどころか感情すら残されていない。
ただ命令に従うだけの人形。



戦闘員E209は、
実の妹をその手で洗脳用の装置に拘束した。

装置が怪しく光る。

裸に剥かれ、拘束された妹は、目の前に立ち尽くす姉に必死に呼びかける。
だが、姉の無表情に変化はない。



あかり

「や、やめろ…
な、なに」の光…?」

「いぎいぎ!?
あくまアアアア!」

幼い少女を「戦闘員」という名の“組織の奴隷”に造り変えるべく
脳改造が始まる。

少女が無様に洗脳される様子は、娯楽として組織内で晒されている

「戦闘員E209、妹の洗脳改造を見ながら、オナニーしろよ」。

それは、見物していた一般兵から野次だった。
だが、たとえ野次でも、戦闘員にとって絶対服従の命令である。

E209

「はい、命令を確認しました。
自分の妹が洗脳される姿を
見ながらオナニーします…」

E209

「…ん♥…あっ♥…んっ♥…」

あかり

「あぐろ…お、おねっ…ちゅっ
たひゅけっ…」

あかり

「んぎ…いっ♡
なんでっ♡
こんなキセキイよくっ♡」



妹はまず快樂神経を弄り改造される。
痛みや恐怖がすべて快樂に変換されるようになる。

この処置は性的快樂を、現在進行中の改造処置や、
改造後、戦闘員としての運用時に、利用するためである。

「戦闘員E209、オナニーの様子を口頭にて報告せよ」

より無様さを増し、観衆の満足度を高めるため、士官が命令を追加した。

どんなに理不尽な命令や、尊厳を踏みにじるような命令でも、造り変えられた姉の脳は、憐れにも従う以外の思考は存在しない。

E209

「はい。
オナニーを報告します」

E209

「おっぱいと、オマムン」をほしくっています
痛いくらいにうねっています
脳を弄っていたいたお陰で、
とてもキモチイイ…んおっ♡」

あかり

「いぎゅいっ♡やめっ…て♡
おねえちゃん♡たしゅけ…っんび♡

わたしがア消えちゃ…アっ♡アっ♡
アガガガ♡アガア♡マッマアア♡」

姉がオナニーをしている目の前で妹の脳改造は進行する。
脳が隅々まで解析され、必要のない思考や人格が消去・改竄されていく。

あかりが生きてきた10年間。
積み重ねてきた全てが改竄され、
あかりという人間そのものを造り変えられ陵辱されていく。

命令に従い、オナニーを続ける姉。
性的快楽の波が、彼女の脳を犯し続ける。
だが、戦闘員が勝手に絶頂に至ることはできない。

E209

「んくっ♡…んあっ♡…
乳房もマンコも、もう限界でドーンです♡
マン汁の分泌が止まりません」

E209

「…はい。
絶頂許可があるまでイクことは許されません♡
このまま、オナニーを続けます…んうあっ♡」

あかり

「あッアッあがカあッアアッ…♡
わわ、わたしはっガッ
ダールベルグの戦闘員イッ♡
そ、組織に忠誠っ♡
忠誠をオオオ」

一方で散々、弄繰り回された妹の脳。

その脳髓、本能よりも深くに「組織に絶対服従」という
理不尽が姉の脳と同様に刻み込まれていく。

同時に、彼女の幼い脳には、深刻な過負荷によるダメージが蓄積され、
洗脳と相まって、命令を聞く以外の思考ができないようになっていく。

組織からの命令を本能よりも優先するよう、脳改造された彼女たちは戦闘での損傷よりも、脳がバグって壊れることも多いのだ。

「…はあっ♡…はあっ♡…はあっ♡
はい♡♡♡

「イけなくて…すでに許容を超える快樂です♡」

「このまま絶頂の許可を頂けなければ、私は、脳が焼き切れ、廃人になります…♡…んぐひっ♡」

はい。……構いません。
私は忠実な戦闘員。壊れるまで使い潰してください♡」

「……かひゅア♡…はひゅう♡」

姉がオナニーに狂つてる間に、妹はもう取り返しのつかないほど脳が弄られていた。

システム
『脳へのダメージ、許容範囲内。』

全ての洗脳シークエンス、正常に完了』
 個体名を“戦闘員E212”に更新。』

「戦闘員E209、
絶頂を許可する」

E209 「ぜ、絶頂の♡…許可をいた、いい♡
 いただきありがとうござっ♡まっ♡……」

[illegible]

システム
『強制覚醒を実施。
再起動シーケンス

洗脳プロセスの最終段階に入ります』

EN09

「うん♡うん♡♡
イタコのうまるなうさへ♡」

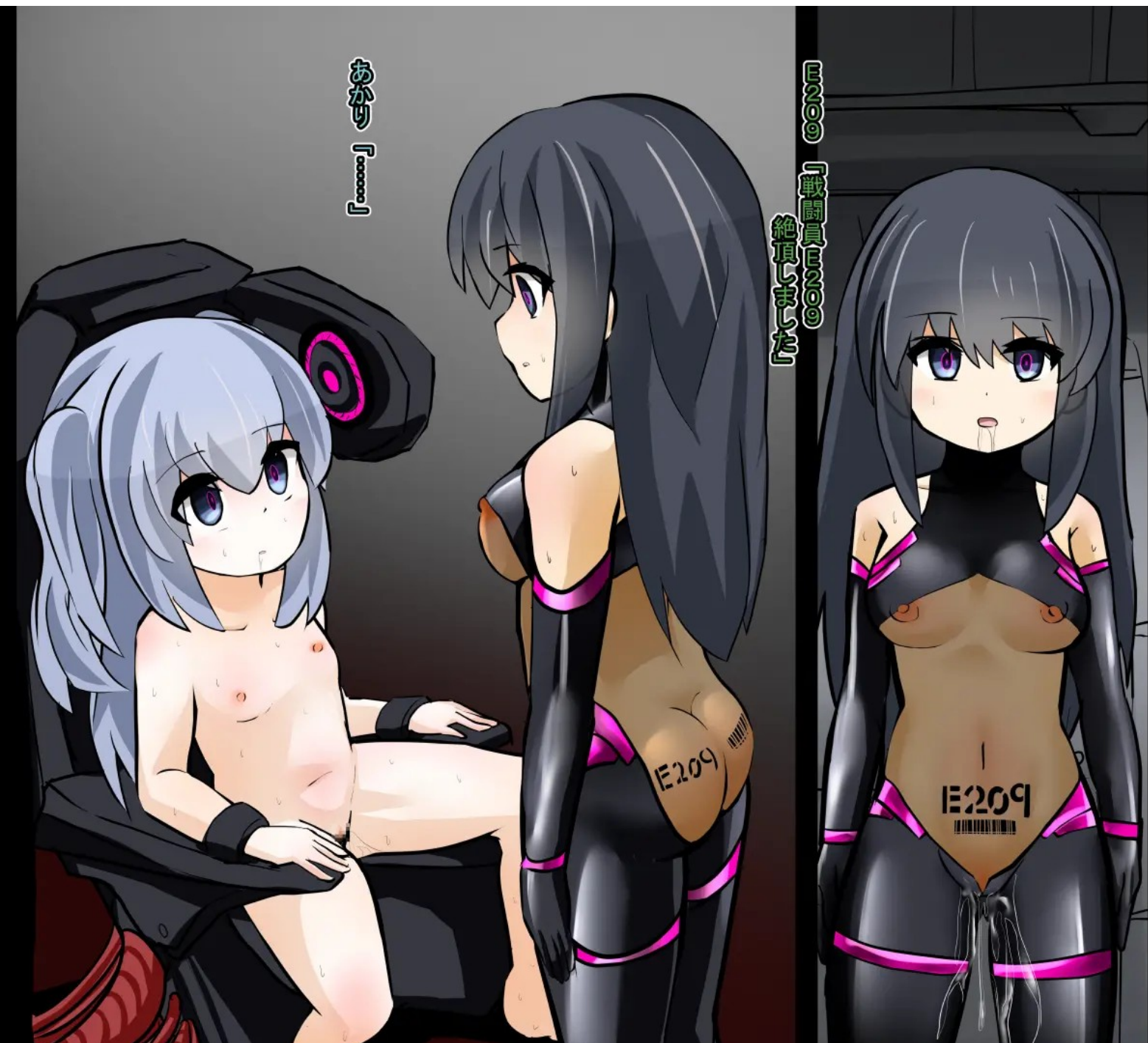
EN09

「うん♡うん♡♡

あがり

「おねおねんー♡♡
うめしなうさへん♡♡♡
あねおねおねささあななな♡」





あがり「……」

E209
「戦闘員E209
絶頂しました」

洗脳が完了後、ナンバーが刻印される。



一生消えることのない刻印であり、
名前すら奪われた少女の、これからの全てである。



E212

「戦闘員E212、洗脳完了しました。戦闘員にしていた下さ
ありがとうございます」

「まだ未成熟な身体ですが、
全てを捧げ、忠誠を尽くします」

E209

「ご命令通り、
妹を戦闘員にしました。
次のご命令をお願いします」

E209

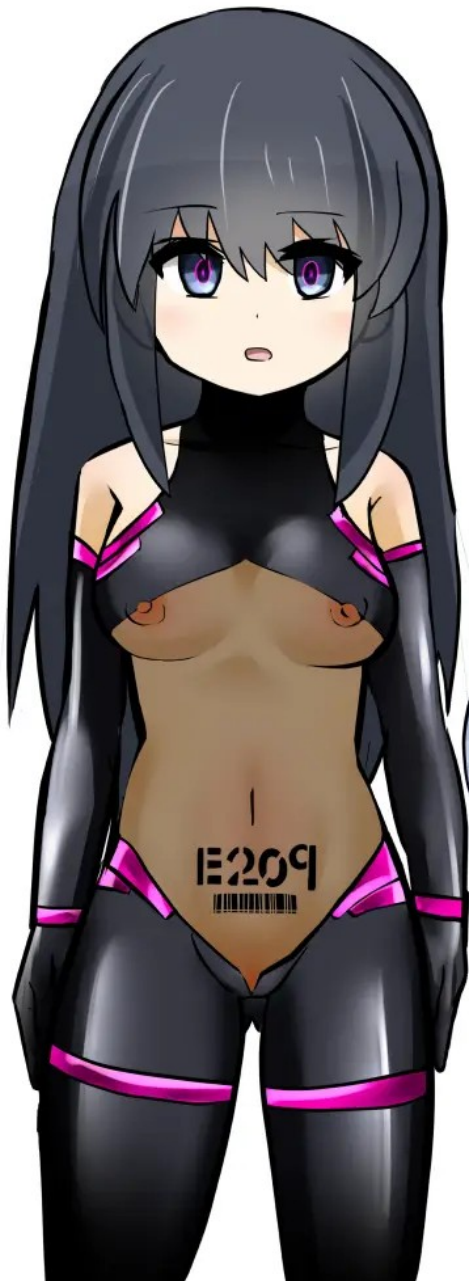
E209

E212

E212

EDイン

姉
E209



妹
E212

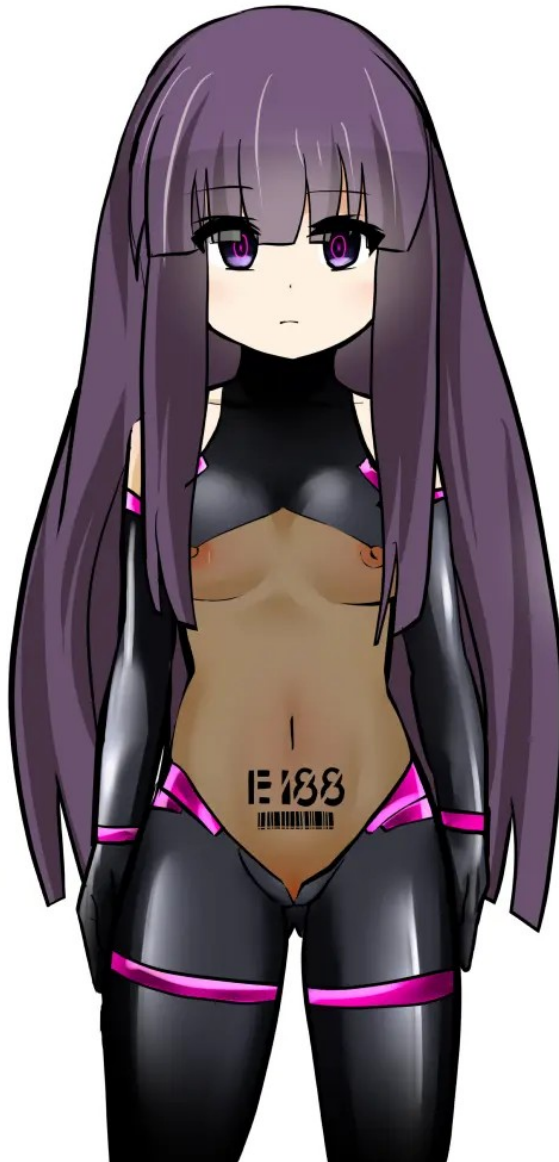
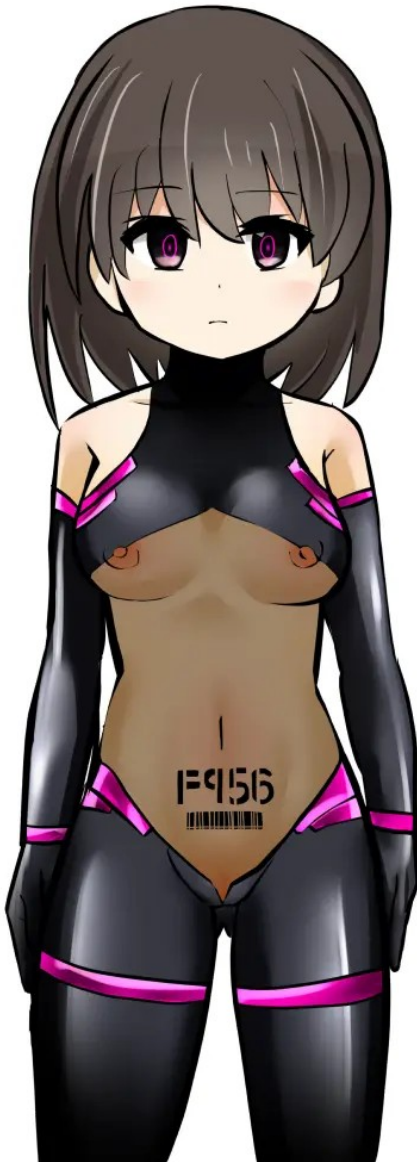


モリ

F956

E188

E178

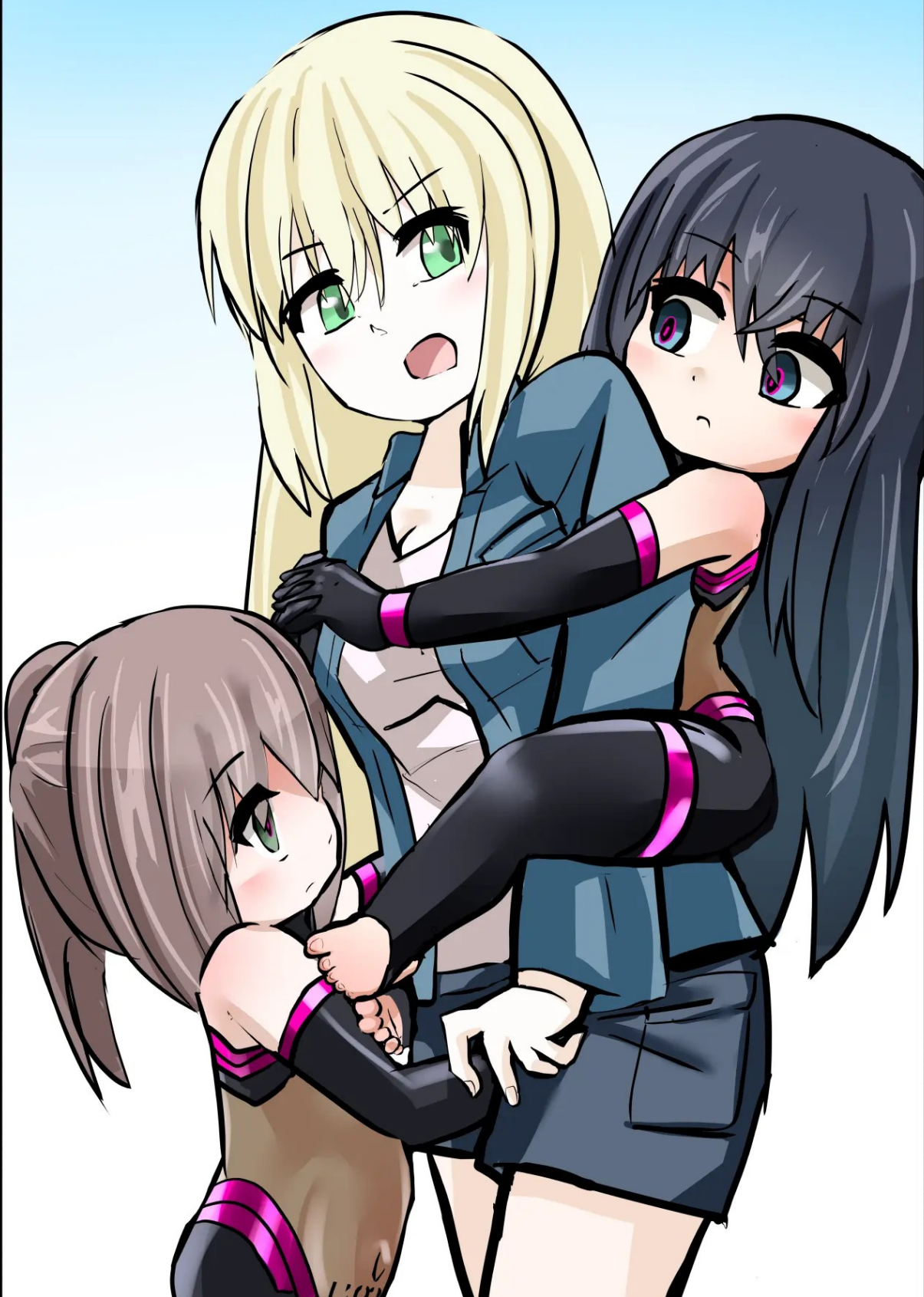


国際テロ組織【ダールベルグ】
組織では忠誠を植え付けられた女性たちが、戦闘員と呼ばれ、その身を捧げている。
脳を改造され、洗脳された彼女たちは忠誠と、命令が絶対であり、それ以外は考えることすらできない。



そんな戦闘員の中には、
幼いながらに誘拐され洗脳された、ロリ級戦闘員が存在する。

ロリ級戦闘員が直接、戦闘に使われるケースは少ない。
彼女たちの任務はもっぱら幼女としての特性を活かしたものだ。
警戒されにくいため、新たな戦闘員素体の調達に使用されることが最も多い。



脳を弄られた少女たちは、自身の身体を限界まで酷使して任務を全うする。
そんな少女たちの拘束からは、成人女性でも逃れることが難しい。
また、脅迫目的で刑法を逆手にとったハニートラップを行うこともある。

中学生以上の戦闘員と同様に、ロリ級戦闘員も、構成員の性処理に使われることがある。
特定の性癖を持つ構成員は、好んでロリ級戦闘員を使う。
構成員に命令されれば、彼女たちに拒否権はない。むしろ拒否するという思考すらできない。



いくら脳を改造されていても身体は幼い。
まだ未発達の性器は乱暴に扱われ、酷使された身体にもダメージが蓄積されていく。
だが、彼女たちはプログラムに従い、笑顔を作って「ご利用ありがとうございました」と感謝を述べる。

掃除などの雑用もロリ級戦闘員の仕事である。
ロリ級戦闘員は通常戦闘員に比べ、高度な作業ができない。だが、高価なドロイドと違って
彼女たちは導入コストも少なく、維持費も残飯のみのため、単純作業に高い費用対効果を発揮する。



ただっ広い基地を、幼い身体で休むことなく雑巾がけをする。
汗だくになり、身体をガクガク震わせながら掃除を完遂するのはいつものことだ。

戦闘員は一日に一回、排泄を許可される。
それはロリ級戦闘員も同じであるが、彼女たちは通常戦闘員の排泄物を回収する役割を担う。
この時間はあまりの悪臭から、一部を除く構成員たちがこぞって退避するほどだ。



ロリ級戦闘員はバケツに、何十人もの女性たちの排泄物を回収していく。
通常の間であれば生理的嫌悪を抱くほどの悪臭にさらされる。
しかし、本能すら書き換えられている彼女たちは、ただ淡々と汚物を回収して回る。

一日の過酷な業務を終えたら、身体の汚れを雑巾で拭う。
最下級であるロリ級戦闘員は雑巾を交換することすら許されない。
すでに使い込まれ、変色し強烈な臭いを放つ雑巾を無心に、身体に擦りつける。



救いがあるとするれば、構成員から「最近、ロリ級戦闘員が生乾き臭い」とクレームが入り、彼女たちの雑巾交換費用が、次回稟議に提出されたことだ。
だが、可決されるまでは、彼女たちは何の疑いもなく雑巾を手に汚れを塗り拡げ続ける。

ロリ級戦闘員は故障率が高い。まともな状態で成人を迎える個体はほぼない。脳や身体が発育途中に、弄られ洗脳されるのが要因だ。また、脳改造の際、脳髄に深刻なダメージが入ることに加え、日々脳も身体も酷使され続けることが拍車をかける。



思考回路も神経系もズタボロで、グチャグチャなのだ。戦闘員どころか、もはや人間としての再起すら不能である。そんな彼女たちでも、壊れ具合に応じて組織は使用し続ける。

脳が壊れ、身体が比較的まともな個体は、実験体として利用される。とても幼女とは思えない身体へと弄られ、実験される日々を送る。自分が誰で、どんな目にあっているのか認識できていないことが幸いと言えるほどに。



実験体の数は不足がちのため、研究者は実験体が死なないように細心の注意を払う。それは、優しさからではなく、永遠に実験を続けるため。その結果、実験体になったロリ級戦闘員は、無数の実験と改造に身体を蝕まれながら成人を迎える。

脳も身体も、実験にすら利用できないほどグチャグチャな個体は、再調整され出荷される。
機密の保持のため、脳内にかろうじて残っていた記憶も知性もすべて消去され、
闇市に流される。



売られた先でどのような扱いをされるかは、個体によってまちまちである。
知能もなく、身体もボロボロのため、ペットとして飼われればいい方で、
見世物や、特殊趣味の対象として飼われる個体も多い。

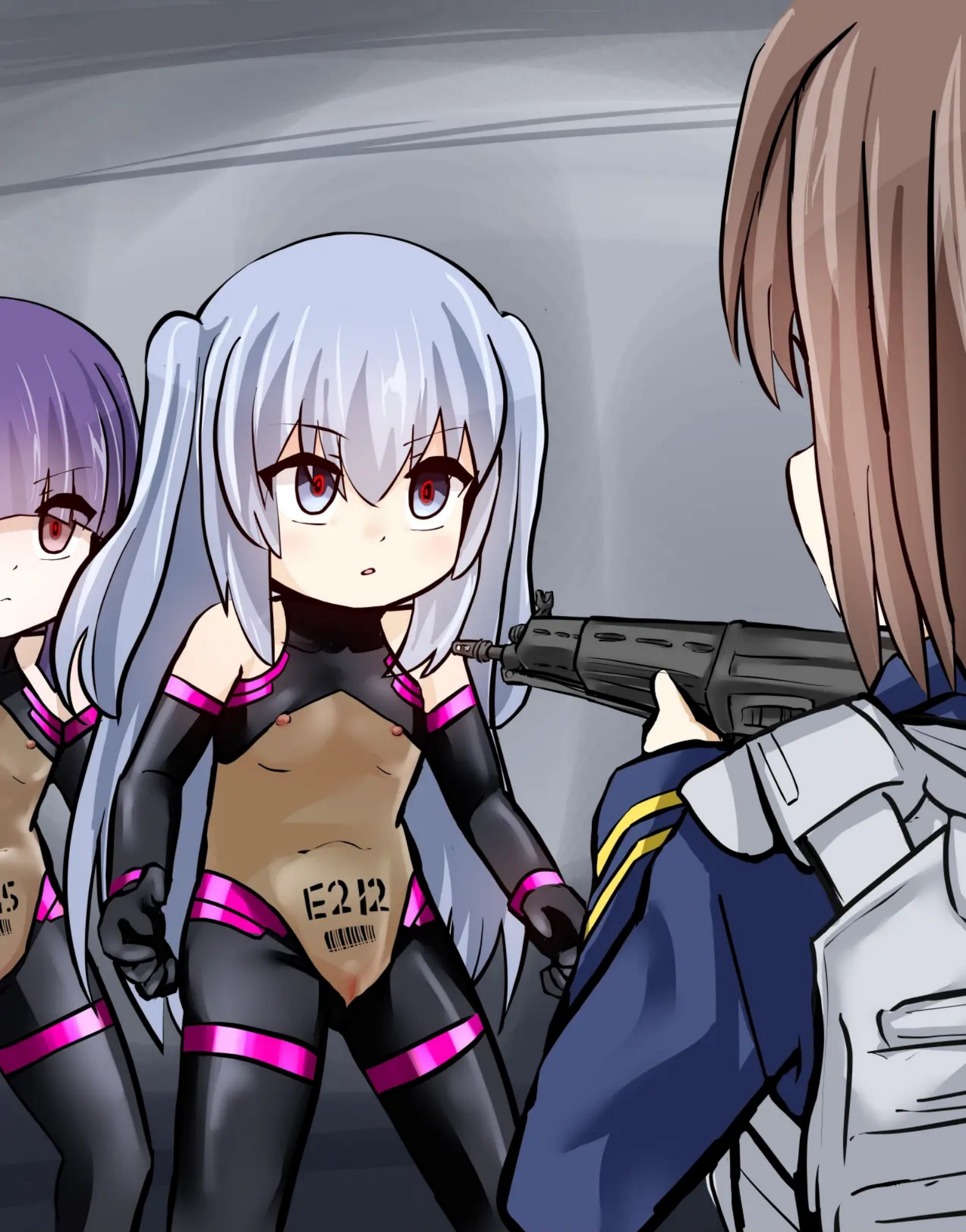
【敵施設侵入部隊：A班】



「こちらA班、敵施設内部に侵入。

任務を開始する」

「人を洗脳して、戦闘員にしてるんですよね」「そうらしいが…今は任務に集中だ」



「……なっ！？敵施設内に子供が……！？」

「すぐに保護しないとっ」

「君たち、だいじょ……いやっ！この子たちもまさか！？」



「こちら戦闘員E212。侵入者の捕縛に成功しました」

「……はい、次の命令を確認しました。」

侵入者を洗脳処理施設へ連行します」



「戦闘員H221。洗脳完了しました」

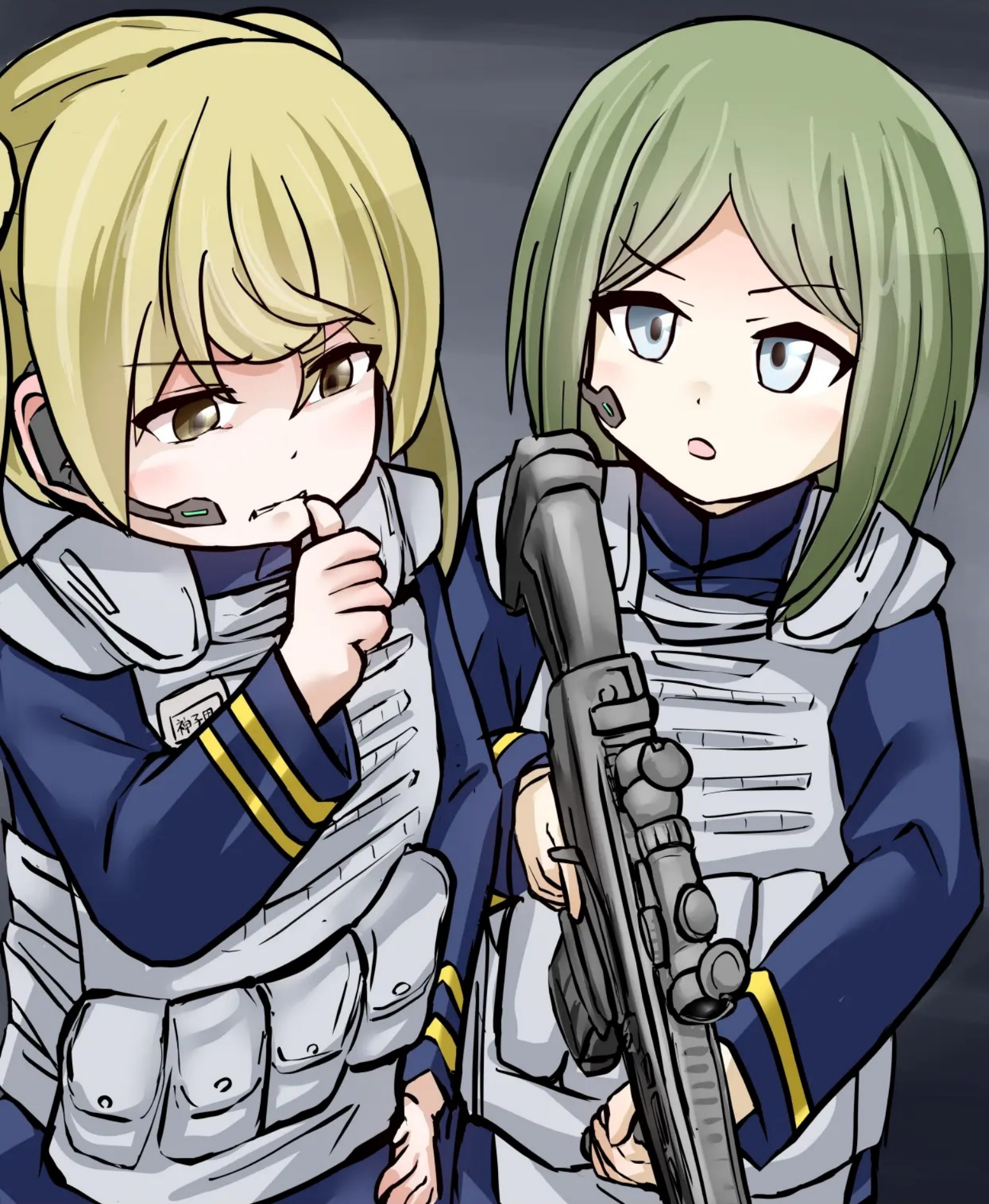
「戦闘員H222。洗脳完了しました」

「脳改造と洗脳をしていただきありがとうございます。忠誠を誓います」



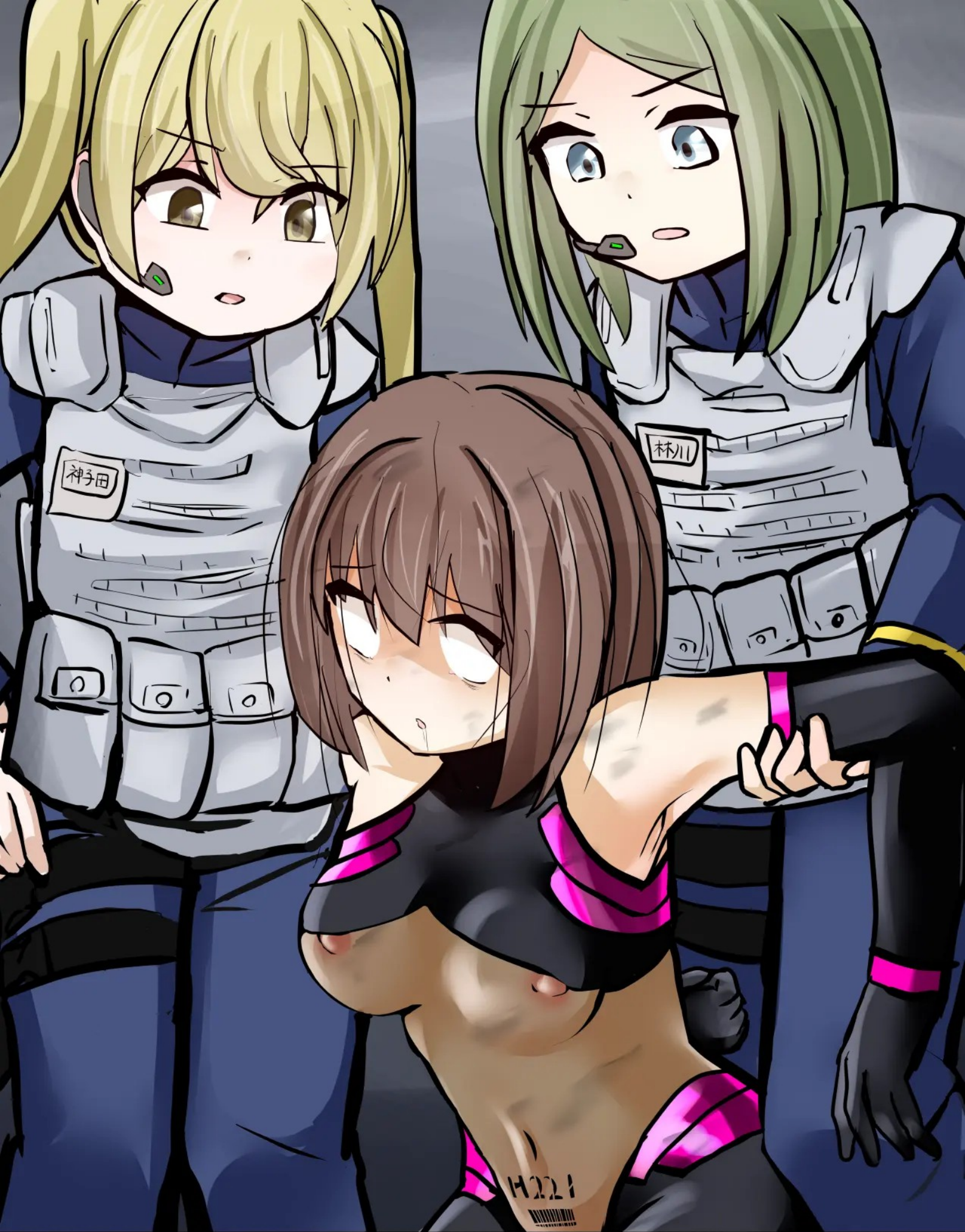
「「「命令を確認しました。
残りの侵入者を捕縛します」」」
「「「偉大なダールベルグに忠誠を！ダールベルグ万歳！！」」」

【敵施設侵入部隊：B班】



「二尉、司令部より緊急連絡です。A班がしくじって捕まったと。」

B班は現行任務を中止、A班を救助。洗脳済みの場合は始末せよ、です」
「チッ、あのマヌケども。足引っ張るなっの」



「やっと大人になりましたね」「さっさと、このマヌケを回収するわよ」
「……あの、本部からは”洗脳済みの場合は始末せよ”との命令ですが……」
「ふん、こんなマヌケに無駄弾使うなんて勿体ないわ。連れ帰るわよ」「了解！」



「勘違いしないでよ？こんな……ぴっ……」「二尉！？、ふ、伏兵かっ……うぐっ」
「こちら戦闘員E212。ご命令通り戦闘員H221を罠に使い、侵入者を捕縛しました。
……はい。侵入者を改造実験施設へ連行します」

一か月後 【改造済戦闘員 type警備用番犬】



「ほ、本部っ緊急！！、敵施設内に犬、いや、ひ、人が犬のようにつ」
「お、襲い掛かってき……っ、きやあぁっ！！あがっ」

国際テロネットワーク
【ダールベルグ】

ダールベルグは少女を拉致し、
改造・洗脳することで戦闘員を調達する。

少女は戦闘、テロ、ハニートラップに加担し
組織内での慰安、雑用にも使われる。

ダールベルグへの絶対の忠誠を刻まれ
その一生を忠実な奴隷として終えるのだ。

常盤ゆな 17歳

下校中に行方不明

常盤あかり 10歳

下校中に行方不明



我々、特別治安維持機構は、
ついにダールベルグ戦闘員の捕獲に成功した。

本レポートは、改造・洗脳された少女についての実験記録である。



少女は脳にチップを埋め込まれている。
この脳内チップで命令を受信し、行動を制御しているようだ。

そこで、脳内チップをハッキングすることで少女の沈黙化、
簡単な命令を聞かせることに成功した。

実験個体1体目。

常盤ゆな、17歳。

調乃宮市立東高等学校2年生。

真面目な性格で物静かながら、学校での評価は上々。



下校中に行方不明。
調乃梅警察署にて失踪届を受理。

その後、ダールベルグ戦闘員として数々のテロ等犯罪活動への従事を確認。
拉致前に非行歴はなし。元の性格に関係なく少女を犯罪者にできる洗脳技術は間違いなく脅威である。

実験個体2体目。

常盤あかり、10歳。

調乃宮第二小学校5年生。

明るく活発な性格でよく笑うと、学校での評価は上々。

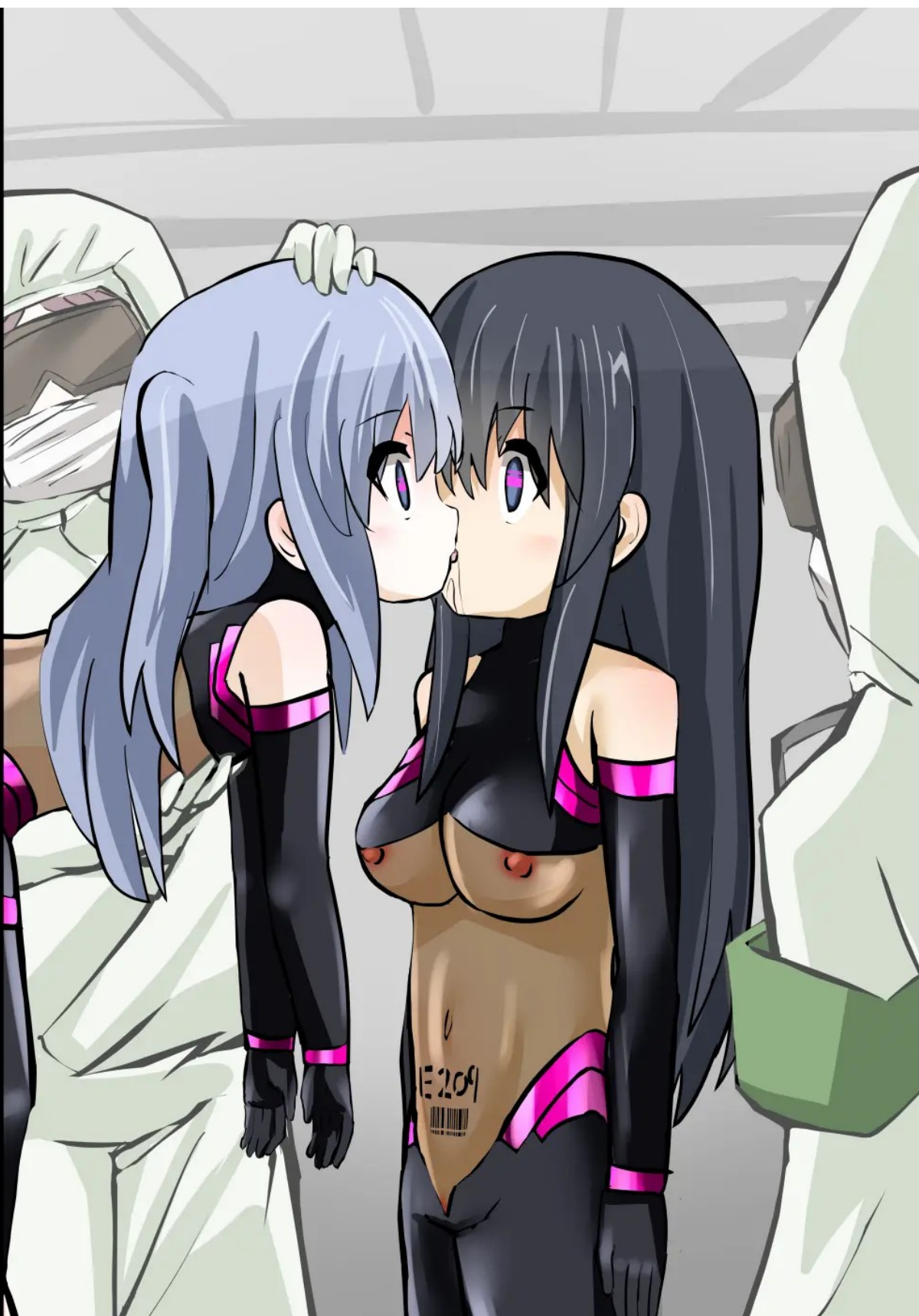


下校中に行方不明。
調乃梅警察署にて失踪届を受理。

その後、ダールベルグ戦闘員として幼女としてハニートラップに従事していたことを確認。
拉致前は初潮を迎えておらず、改造で無理やり初潮を迎えさせられているようだ。

捕獲した2体は姉妹であった。

戦闘員にされる前の自我があるか確認するのに丁度良い。
2体の口と口を合わせてみる。



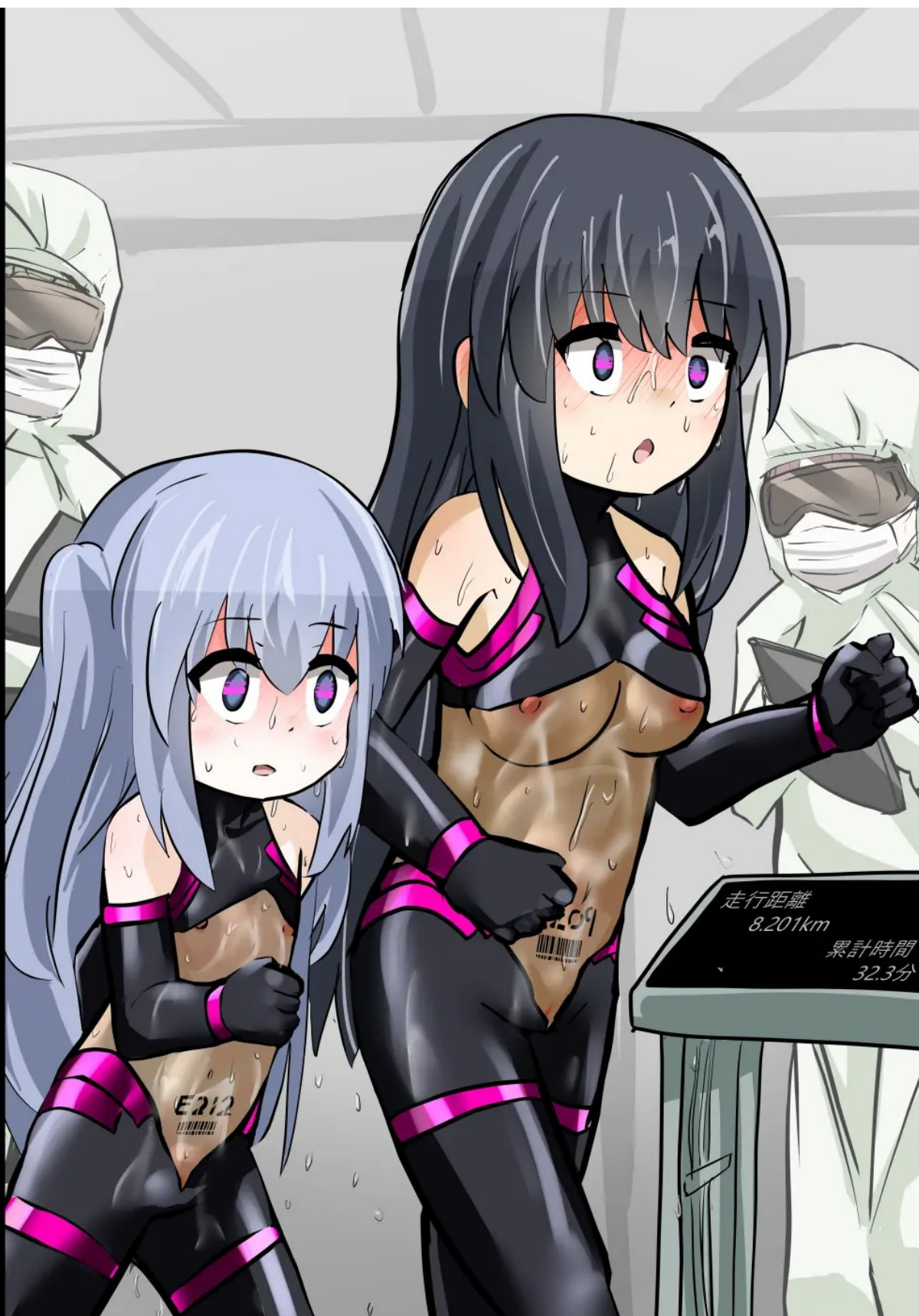
お互いに息がかかり、唇に柔らかく暖かい感触があるはずだが、
姉個体も妹個体も一切反応しない。

相手の存在を忘れているのか、
そもそも命令されなければ何も思考できないのか。ただ涎を垂らすのみだった。

命令に対しての思考力を確認する。

「走れ」という命令のみ与えて30分。

少女はランニングマシンの上でひたすら走り続けている。



なぜ走るのか。終わりがあるのか。
疑問に思う様子はまったくない。

それどころかひどく荒い呼吸に、多量に発汗してもなお
休むこともなく8 km分も走り続けている。

与えられた命令に対しても実行に移す以外の
思考能力はないようだ。

そうでなければ身体を痙攣させながら
4時間も走り続けたりはしないだろう。



普通の少女であれば41kmも休みなく走り続けることは難しい。
特に、妹個体は相当に酷なはずだ。

さすがにペースは落ちていくがそれでも走り続ける。

全身ガクガクと震え、表情も完全に正気の沙汰には見えない。

すでに少女の身体はスタボロだろう。次の実験の前に、少し休息を挟もう

身体が疲れても命令を遂行すること、
身体の感度が非常に低くされていることが判明した。
これは継戦能力をもたせるためだろう。

そこで性器の感度についても確認を行う。



妹個体に「戦闘員E209の子宮を引きずり出せ」と命令を与えた。

妹個体は迷いなく姉個体の女性器に手を挿入し始めた。
姉個体の体温が上昇。

表情は変わらないが感じているようだ。

幼女とはいえ腕が挿入されるとかなり感じるようだ。
とくに子宮を引きずり出すよう指示しているため
妹個体は必死に、姉個体の子宮を引きずり出そうと
子宮を内部から爪をたて握ろうとしている



ただ、普通の少女であれば
膣に腕を挿入され子宮を中からまさぐられたら痛みで気絶してもおかしくない。

しかし姉個体は痛みは感じずに性的刺激に悶えている。
性器への刺激は痛みでもなんでも性快楽へ変換されるようだ。

子宮を引きずり出され姉個体はビクビクと痙攣している。
妹個体に子宮を驚掴みされた刺激で何度も絶頂しているようだ。



ダールベルグ組織内では慰安として性器を使われるらしい。
姉個体の子宮はダメージが蓄積され妊娠機能は喪失していた。

だが、元々戦闘員への改造時に卵子が強制的に排卵され卵巣は空っぽ。そもそも去勢されていることが判明した。
そのため、妊娠機能の喪失時期については改造・洗脳時の可能性もある。

次は妹個体の感度についても確認を行う。

特に妹個体はダールベルグでも数が少ない幼女戦闘員であり
貴重なデータとなるだろう



姉個体に「戦闘員E212の子宮を引きずり出せ」と命令を与えた。

姉個体は迷いなく、洗脳前では庇護対象だった妹個体の小さな女性器に手を挿入し始めた。
妹個体の体温が上昇。

表情は変わらないが妹個体もまた、性的に感じているようだ。

妹個体は幼女のため膣に姉個体の拳が挿入された瞬間に痙攣し始めた。
今回も子宮を引きずり出すよう指示しているため
姉個体は必死に、妹個体の小さな子宮を引きずり出そうと
狭い子宮を内部から爪をたて握ろうとしている。



妹個体は洗脳前は初潮前で、改造時に初潮を強制的に行われている。
姉個体と同様に痛みは感じずに性快楽へ変換されるようだ。

そのため小さな性器を蹂躪されながら
尋常でない性的刺激に悶えている。

子宮を引きずり出され妹個体もまたビクビクと絶頂している。
だが、姉個体よりも性器への刺激が激しかったこともあり
短い間隔で絶頂を繰り返している。



元々、性器が未熟な妹個体の子宮は姉個体よりも
ひどく消耗し、やはりダメージの蓄積から妊娠機能は喪失していた。
また姉個体と同じく、卵巣は強制排卵され空っぽにされて去勢されていた。

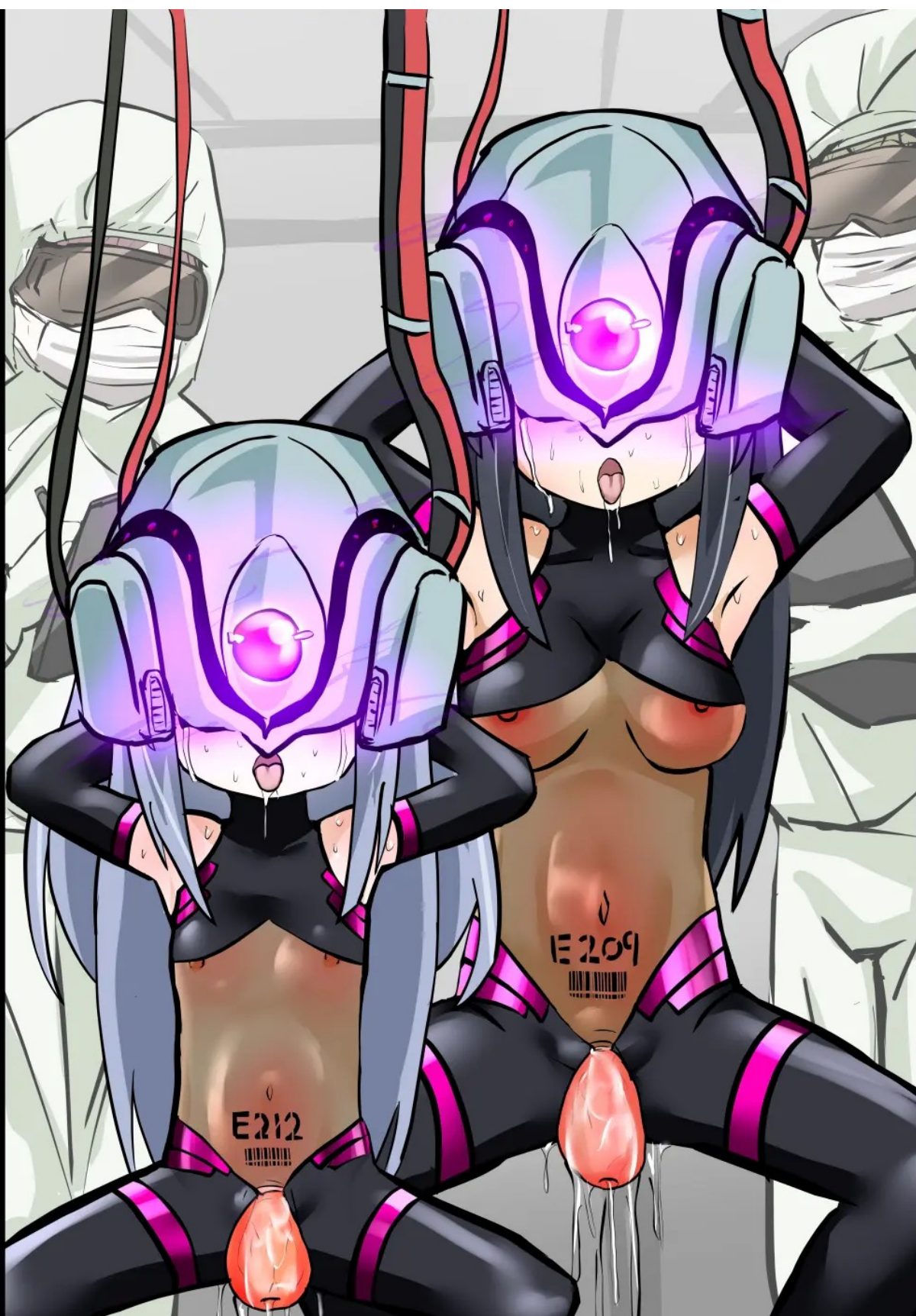
ある程度のデータがとれたため、
メインの実験を行う。

再洗脳を試みる。



ダールベルグから接収したヘッドギアを改造した
この装置で再洗脳を試みるのだ。
成功すれば簡単な命令を聞かせるだけでなく、こちらの戦力として再利用が可能となる。

ダールベルグへの忠誠が脳髄に本能レベルで植え付けられているようだ。
この植え付けられている忠誠心を消去しないし破壊するには
彼女たちの脳髄を破壊する必要がある。



下手をすれば彼女たちは廃人となるだろう。
だが、悪のダールベルグに対抗し、国民と国土、
ひいては秩序ある世界を守るためには致し方ない。
装置の出力を最大に引き上げよう。

姉個体も妹個体も脳が壊れ廃人となった。

やはり、脳髓に本能レベルで植え付けられているダールベルグへの忠誠心を削除するのは容易なことではないようだ。



この2体への実験は一時中止する。
この実験そのものは公表こそされないが、我が国のみならず連携する友好各国に共有される。
世界の対ダールベルグ戦の一助になることは疑いない。
この2体についても、脳が壊れただけで身体での実験はまだ可能だ。
実験動物用の檻に移送し、次の実験まで経過観察を行う。